

第11回共同研究会（2023年9月26～28日） 概要

- 国土交通政策研究所では、日米の3機関※により締結した協力覚書に基づき、住宅・都市分野に関する共同研究を実施している。※国土交通省、(独)都市再生機構、米国住宅都市開発省
- 2023年9月に米国・シアトル市にて共同研究会を開催し、エイジング・イン・プレイスやグリーンインフラの取組等を視察し、意見交換等を行った。

主な視察先等

- ・緑豊かな住宅地の再開発事業（ハイポイント）
- ・民間事業と連携した公営住宅を含めた大規模再開発事業（イエスラーテラス）
- ・自然と触れあうことが可能なワークスペースの提供（アマゾン スフィア）
- ・スマートシティ等に関する学際的な研究会への参加（ワシントン大学）

視察先の特徴

- ・ハイポイントやイエスラーテラスの再開発事業では、公的資金と民間資金の組み合わせにより、低所得者から中高所得者が混在するミックスインカムコミュニティを形成
- ・ハイポイントの再開発事業では、住宅団地内に雨水を自然植生に流し土壤に浸透させるバイオスウェルが設けられる等、グリーンインフラを大規模に活用



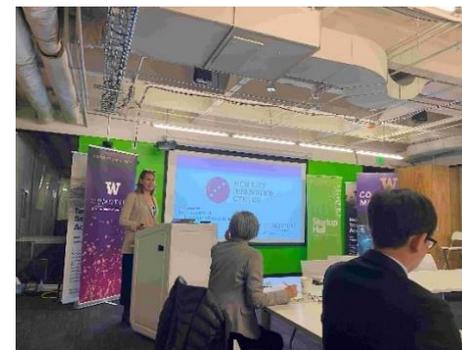
住宅団地内のバイオスウェル（ハイポイント）



再開発事業により建設されたミックス・インカム・コミュニティの住宅地（イエスラーテラス）



4万本以上の植物があるスフィア内のワークスペース（アマゾン）



スマートシティ等に関する研究会（ワシントン大学）